

京都 CSR 推進協議会 2015 年度事業計画

(2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日)

基本方針

2011 年 4 月 22 日に設立した当協議会は、「中小企業の CSR 支援」「市民力の向上」「地域力の向上」をミッションとし、京都府域の中小企業及び小規模事業者を主とした企業等の CSR の取り組みを促進及び支援すること、並びに地域力の向上と地域の社会的課題の解決に資することを目的として活動してきている。その成果として、CSR 京都に参画以来、取り組みが進歩し定着している会員企業も少なくない。また、複数の機関との共催を含めてセミナーなどを開催し、会員企業のみならず広く企業の CSR の啓発に寄与している。

日本の他地域でも CSR 支援の枠組みが増えつつあり、ニーズの顕在・潜在の如何にかかわらず、企業にとって、また地域社会にとって CSR の重要性を発信し啓発して、CSR の考え方と取り組みを普及・促進していく役割が今後も期待されている。このため 2015 年度は、期待される役割を果たすため、現行事業を精査しながら継続する。

一方、発足後 4 年の経過の中で、協議会は事務局体制の持続性の欠如と会員企業数の伸び悩みを一因とした財政不安に直面している。特に個人に依存した事務局体制の不安定さは組織にとって致命的な問題であり、ここ数年解決に向けて取り組んできたが、現行の組織体制の維持継続は困難であることから、次の基本方針とする。

CSR を支援・促進する新たなセンター組織の運営母体、もしくは持続可能な組織団体による事務局体制を模索、実現することで、設立当初の合意原則の一つである「シンボル性」（「地域社会全体の取り組みとすることで、京都の CSR のシンボルとなり、市民の目からも分かりやすいものとなる。」）としての「CSR 京都」の存続に向けて、協議会の活動、事業を実質的に継承、存続させることに全力を挙げる。

1 支援事業

(1) CSR 取り組みレポートの作成・公開支援、ウェブサイトの運用

CSR 取り組みレポートの作成からウェブサイトアップに至るメンバー会員への支援を、協議会事業の軸として継続して実施する。メールニュース【CSR 京都 Newsletter】も引き続き配信する。

(2) 取り組みセミナーの開催

CSR 創発塾を継続して開催する。

(3) 支援の拡大

理事会員の中核団体である経済団体の役割としての各傘下企業に対する取り組みに協力し、メンバー会員の拡大につなげる。また、会員募集期間に照準をあてた CSR に関するセミナーなどイベントを企画して実施する。

2 普及・促進事業

(1) オープンセミナーの開催

外部の団体等と連携する機会を活用して、オープンセミナーを開催する。

(2) 取り組みセミナーの開催

メンバー会員対象の CSR 創発塾を引き続き公開して開催する。

(3) ウェブサイト等の充実

CSR を普及・促進する観点から、ウェブサイト等での情報発信の充実を図る。

(4) リーフレット・パンフレットの作成と活用

リーフレット・パンフレットを、必要に応じて活用する。また、必要に応じて改訂する。

3 組織の運営

(1) 会員募集集中期間の設定等

① 2014 年度にとり入れた 10 月～11 月のメンバー会員募集集中期間の設定を継続し、12 月～3 月に CSR 取り組みレポートの作成・公開支援や諸手続き等の会員サービスを集中させる。

② 取り組みレポートの更新時期も引き続き下半期に集中させる。

(2) 協議会の運営

① 総会の開催

1 回開催する。

② 理事会の開催

1 回程度開催する。

③ 企画運営委員会の開催

(3) 実質的な存続の模索

以上